

週間漁海況情報一第7号

平成25年2月18日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

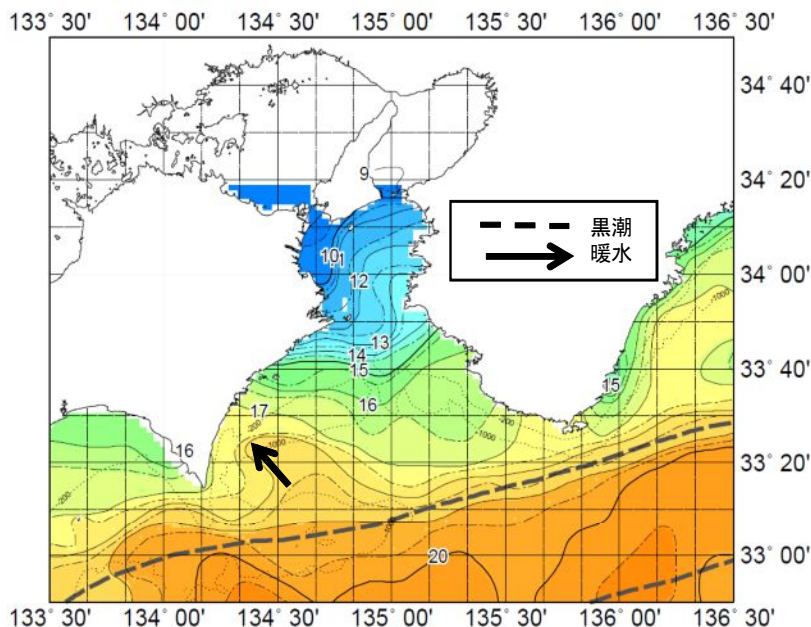
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.2.18）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8～9℃台、紀伊水道で9～12℃台、海部沿岸で12～17℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬側に緩やかな暖水流入がある。紀伊水道入口部から海部沿岸の北側にかけて、内海系水と暖水の潮境が見られる。



紀伊水道海区観測結果

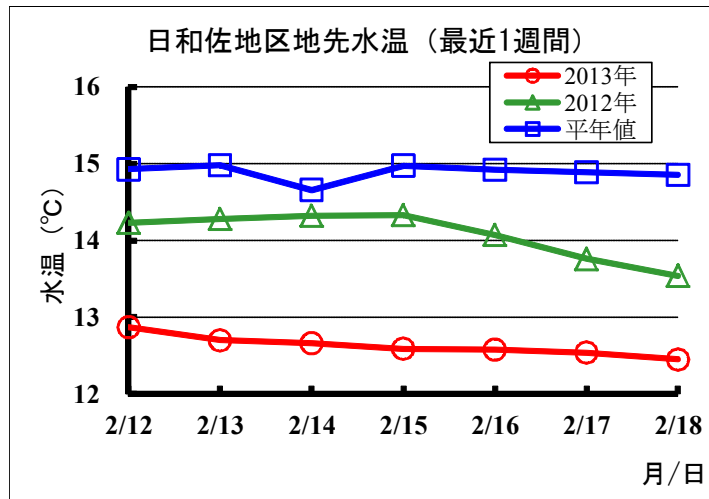
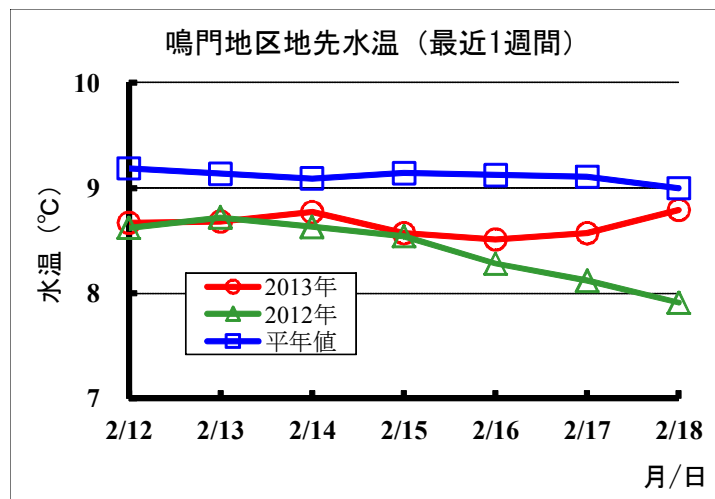
観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
2/7, 12, 14	今年値	11.2	11.4	12.0	12.6	13.3	32.8	33.0	33.3	33.5	33.8
	平年偏差	-0.5	-0.4	-0.4	-0.1	-0.1	-0.4	-0.4	-0.3	-0.2	-0.2
	前年偏差	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1

漁業調査船「とくしま」で2月7, 12及び14日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、表層が「やや低め」の11.2℃、10～50m層水温が「平年並」の11.4～13.3℃であった。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の8.5～8.8℃、日和佐地区は「低め」の12.5～12.9℃、牟岐地区は「かなり低め」～「やや低め」の11.9～13.4℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、中主体にアカムツが0.7トン（1日1隻あたり27kg）、大主体にキダイが0.6トン（同18kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、ヒラメが0.4トン（同6kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、スルメイカが0.5トン（同14kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが0.7トン（同62kg）、小主体にゴマサバが0.2トン（同21kg）、ブリが0.5トン（同47kg）、中主体にスルメイカが2.5トン（同223kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にマアジが0.2トン（同8kg）、大主体にアオリイカが0.3トン（同7kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2月11日～2月17日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり 漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	27	734	27	中主体
		キダイ	34	597	18	大主体
建網		ヒラメ	64	353	6	
小型定置網		スルメイカ	35	497	14	
大型定置網		マアジ	11	686	62	マメ主体
		ゴマサバ	11	232	21	小主体
		ブリ	11	514	47	
		スルメイカ	11	2,452	223	中主体
釣り		マアジ	29	221	8	大主体
		アオリイカ	37	263	7	大主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の2月13日～2月19日には、海部沿岸では、建網で、中主体にヒラメが0.3トン、小型定置網で、アオリイカが0.2トン、カタクチイワシが1.2トン、大主体にキビナゴが0.2トン、スルメイカが0.2トン、メジナが0.4トン、大型定置網で、中主体にアオリイカが0.3トン、小主体にシイラが0.4トン、中主体にスルメイカが1.7トン、ブリが0.3トン、小主体にマサバが0.5トン、釣りで、大主体にアオリイカが0.3トン、大・中主体にゴマサバが0.7トン、大・中主体にタチウオが0.4トン、大～小主体にマサバが0.4トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の8～9℃台、日和佐地先で「低め」の12℃台で推移する見込み。